

気象警報発表時の対応について

陽春の候 保護者の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃は、本校教育の推進に対し、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本校におきましては、気象警報発表時に下記のとおり対応します。

臨時休校等の措置につきましては、南丹市教育委員会、町内小中学校等とも連携の上、ご登録いただいております「**tetoru**」、学校ホームページ等にてお知らせしますので、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

◆「大雨」「洪水」「暴風」「大雪」「暴風雪」のいずれかの警報が発表されている場合

- ①午前6時30分現在、「南丹市」に上記のいずれかの警報が発表されている場合は、原則として自宅待機とします。
※連絡等はいたしません。
- ②登校途中に上記の警報が発表された場合は、原則として一旦登校とします。
この際は、児童の安全確保を最優先にした対応をします。
- ③午前8時30分現在、警報が解除されている場合、原則授業を実施しますので、登校時刻等について「tetoru」、学校ホームページ等にてお知らせします。
ただし、積雪の状況によっては、**臨時休校の措置をとる場合もあります。**
- ④午前8時30分を過ぎても、上記の警報が発表されている場合、原則として臨時休校とします。その際は「tetoru」、学校ホームページ等にてお知らせします。
- ⑤在校時に警報が発表された場合
 - ・天候や通学路等の状況から、下校又は学校待機等、児童の安全を最優先に対応します。下校時刻を早めて帰宅させる場合、「tetoru」にて連絡をします。
 - ・警報発表の有無に関わらず、児童の集団下校の安全が確保できないような緊急の場合も、「tetoru」にて連絡をします。保護者の皆さまにお迎えをお願いし、引き渡し下校をさせていただくこともあります。

◆「特別警報」が発表されている場合

◇臨時休校とします。ただちに命を守る行動をとってください。

◆南丹市に「雷注意報」が発表され、かつ黒雲、突風や気温の低下、激しい雷鳴や降雨が認められる場合

- 【登校時】
- ・安全を第一に考え、自宅で待機します。
 - ・登校中の場合は、原則として一旦登校し、児童の安全確保を最優先にした対応をします。
 - ・雷鳴等が収まった後の登校時刻については、「tetoru」にてお知らせします。
- 【下校時】
- ・気象状況によっては、下校時刻を遅らせることがあります。その場合、「tetoru」にてお知らせします。
 - ・激しい雷鳴や降雨が続く場合は、「引き渡し」を行うことがあります。

<お願い>

※臨時休校の措置をとった場合、ご家庭におきましては、児童の安全確保のため、警報発表中は外出させない等のご配慮をお願いします。

※この文書が「tetoru」でも見ていただけるように、データ添付して送らせていただきます。また、学校ホームページにも常時掲載いたします。

令和7年4月22日

保護者 様

南丹市立胡麻郷小学校
校長 白 檉 勝 昭

地震発生時における学校の対応について（お知らせ）

春陽の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校の教育活動の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、全国各地で大きな地震が発生し、甚大な被害が出ています。今後、この地域で地震が発生した際、児童の安全確保を第一に考え、南丹市教育委員会とも連携して下記のような対応をとらせていただきます。

各家庭におかれましても、災害時の対応について、お子様と話し合ってくださいとともに、学校の対応にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

記

■登校前に地震が発生した場合

- 「震度5弱」以上の地震が「南丹市日吉町」で発生した場合は、原則、「臨時休校」とします。
- 「震度4」の場合は、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機」とします。
- 自宅以外の場所に避難した場合は、避難場所を学校まで連絡してください。
- 「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機します。被害状況や通学路等の安全が確認できれば、授業を行います。
- 自宅待機後の連絡は、ご登録いただいております「tetoru」や学校ホームページ等を使って連絡します。なお、停電や通信障害等により学校からの連絡が送受信できないことも予想されます。連絡がない場合は、「臨時休校」とします。

■登下校中に地震が発生した場合

- 建物倒壊の危険など身に危険を感じるような地震の場合、一番近い安全だと思われる場所へ一時的に避難します。揺れが収まれば、「学校」もしくは「自宅」のいずれか、より近い、またはより安全と考えられる方に避難します。

■学校にいる時に地震が発生した場合

- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、「tetoru」等を使って、できるだけ速やかに児童の迎えをお願いすることがあります。その際、迎えがあるまでは、最も安全な場所に避難させ待機します。
- 「震度4」以下の場合、児童の安全を第一に考え、被害の状況によって、「授業の継続」・「中止して下校」・「保護者への引き渡し」等の判断をします。下校の場合は、通学路の安全が確保されていることを確認した後に、「tetoru」にてお知らせし、下校します。

■その他

- 「児童の引き渡し」等、特別な対応を行っている間は、学校への電話がつながりにくい状況が想定されますのでご了承ください。